



東洋ガラスの海外関係会社 とう！

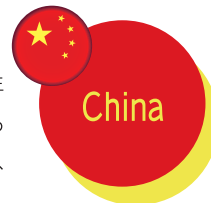
「鳳陽華衆玻璃有限公司」&「Toyo Glass Mold (Thailand) Co., Ltd.」の“今”をご紹介します



フォンヤンカシュハリ



鳳陽華衆玻璃有限公司 <(中国) ガラスびん製造合併事業>



<上海からのアクセスが向上> 中国経済発展の象徴である高速鉄道(北京～上海)が昨年6月に全線開通。上海から当社(安徽省)までのアクセスが約2時間半、上海虹橋空港からの時間は半分となりました。列車本数も大幅増加、上海から遠い立地にある当社のアクセス面は大変便利になりました。



<中国ガラスびん市場> 中国ガラスびん市場は、経済発展に伴い順調に成長。今や年間出荷量1500万トン(日本の約12倍以上)超え。今後も拡大方向と推測されています。特に好調なビールやワイン市場におけるガラスびんメーカーは、大型成形機を有した外資系企業と中国有力企業数社が熾烈なシェアや価格競争を続けています。



<現況と今後について> 昨年、2008年操業時のガラス溶解窯に電気ブースタを導入、日産の生産量80トン増産しました。食料、調味料、洋酒、飲料などのびんを中心に生産し、安定した注文を受けています。日系のお得意様から操業当初の品質から確実に向上したとお褒めを頂いたものの、品質より価格優先の中国ガラスびん市場で、今後どのように製造原価を下げるか「収益改善」が最も大きな課題と考えています。



↑ 鳳陽華衆玻璃社スタッフ一同
前列右3番目、依田副総経理、佐藤生産技術部長



← 技術者への指導風景
東洋ガラスから
検査機を導入



Toyo Glass Mold (Thailand) Co., Ltd. <(タイ) 金型製造事業>

東洋ガラス・モールド・タイランド株式会社



<洪水の影響なし> タイ王国ラヨーン県に操業して3年。オーストラリア、マレーシア、スリランカ、インド、韓国、エジプト、UAE、アメリカ、日本など世界各国の主要ガラスびんメーカーへ金型を供給中。昨年、首都バンコクで大規模洪水が発生しましたが、当社はバンコクから南東120kmに位置するため幸いに被害はありませんでした。



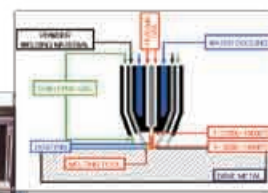
<さらに高まる技術力> 最主要得意先は世界トップ3の総合容器メーカーAmcor社(オーストラリア)。同社は2010年にプリント窯新設、びん軽量化のため次々と導入されている(※)NNPB製品は、当社がパリソン(びん原形)設計を行い、高い評価を得ています。また昨年末にPTA式Ni溶射装置を導入。金型表面に耐磨耗材のNi合金を溶融、これを口型に使用するとびん口部欠点が一掃された事例があります。今後は世界に向けて、同装置で作製した口型を積極的に販売する予定です。 ※NNPB ナローネック・プレス&ブロー



<より良い金型を世界へ> タイの現地従業員は定着率が低いと言われますが、当社スタッフは設立して3年経った時点でも、創立当初の主要メンバーが在籍。技術レベルも大幅に向上しています。今後も品質、コスト、デリバリー、そして従業員のモチベーションを高め、より良い金型を世界へ供給していきたいと考えています。



↑ TGMT 社スタッフ一同
後列左2番目、池田顧問、中村社長、清水取締役



↑ PTA 式溶射方法
PTA=Plasma Transferred Arc